

西宮市議会議員

まさたけ

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

田中正剛

市政・市議会報告

<http://www.masatake.jp>



税金のゆくえ～平成22年度決算審査～

平成22年度決算を認定。約40億円の黒字。

財政健全化の取り組みの成果が着実に表れています。

平成22年度決算は、一般会計で約36億円、介護保険や国民健康保険などの特別会計を加えると約40億円の黒字となりました。

私は、「財政難からの脱却」を訴えて平成15年4月に初当選して以来、財政健全化に関して重点的に取り組んできました。その成果が着実に表れています。これからも、時代に合わなくなった支出や効果の低い事業、目的が不明瞭な支出を見直すとともに人件費の削減なども含めて財源を生み出し、ニーズに合った使い道へと変えるべく取り組んでいきます。

今回の決算審査では、団体に支給された補助金の使われ方を市が把握していないことが発覚し、取り組みの成果が適切に示されていない事業も散見されたため改善すべきと強く指摘しました。

これからのまちを創り、次世代に引き継いでいくために、微力でも、自分にできることを考えながら行動していきます。



■第3次行財政改善前の平成15年度決算との主な決算項目の比較

() 内の%は、全体に占める割合

一般会計		平成15年度 決算額	平成22年度 決算額	備考
内 訳	収 入	1,545億円	1,602億円	この間、決算値は常に黒字。 H20年に中核市となり、財政規模が増大。 財政健全化の取り組みによって支出を抑制した結果、繰入金(貯金の取り崩し)や借金の発行も減少するなど、内容は健全化。
	市税収入	773億円(50%)	818億円(51.1%)	
	借 金	156億円(10.1%)	131億円(8.1%)	
	貯金取崩し	18億円(1.2%)	4億円(0.3%)	
内 訳	支 出	1,540億円	1,563億円	人件費は大きな変化なし 扶助費増大の大きな要因は、 ・児童手当⇒子ども手当に(約80億円増) ・生活保護費:(81億円⇒120億円に)
	人件費	364億円(23.7%)	350億円(22.4%)	
	扶助費 (福祉)	207億円(13.4%)	370億円(23.7%)	
借金の残高		2,606億円	1,739億円	毎年約100億円減少のペース

決算分科会報告

決算審査のために、9月議会では決算特別委員会を設置して、常任委員会単位に分けて、詳細に審議されます。その一部を報告します。

9月議会では、前年度の決算について審査します。その審査では様々な事業の効果等を検証し、次年度予算における税金の使い道の改善につなげるための大事な審査です。私は、市民の皆様からのご意見に基づいて、取り上げる案件を絞って質問、意見表明をしました。



市民文教分科会

■市立幼稚園の人件費抑制の必要性を指摘

市が人事権を含めてすべての権限をもつ市立幼稚園については、人件費の抑制をはじめとした大幅な経費削減を進めるべきと指摘しました。

■市立幼稚園職員の状況(平成22年度決算)

	平均給与	平均年齢	人数
教職員	715万円	38.6才	117名
園務員	723万円	48.5才	19名

幼稚園開園日:概ね190日

■スポーツ推進計画の策定を通じて、施設整備を含めた市のスポーツ政策のビジョンと財源を示すよう要望



老朽化した中央体育館

市立中央体育館や陸上競技場の再整備、市民プールの復活などの要望があるなか、早期に市のスポーツ振興に関するビジョンを示すべきと主張してきました。いよいよ策定されることになった「スポーツ推進計画」(年明けに市民アンケートを実施)のなかで、ビジョンとともに、具体的に施設整備に関する方針や財源を計画に盛り込むよう要望しました。



■給食の調理業務は民間に委託するよう主張

平成15年から、人件費の抑制が進められる半面、右表のとおり、平成15年以降に採用された新嘱託職員、それ以前の旧嘱託職員、正規職員の給与格差と途中退職者の増加による調理の質の低下の問題を指摘しました。

一方で、給食の質の向上に向けた財源の確保も必要です。よって、来年度見直されることになった「学校給食基本方針」のなかで、無理な経費削減ではなく、経費削減を図りながら、

質の向上も期待できる「調理業務の民間委託」を盛り込むべきと主張しました。

■学校給食調理員の状況(平成22年度決算)

	平均給与	平均年齢	人数
正規職員	766万円	46.2才	89名
旧嘱託職員	502万円	57.4才	75名
新嘱託職員	320万円	42.4才	143名

給食実施平均日数:(小)約180日、(中)約167日

その他、以下の内容を取り上げました

- ・学校での用務員業務と委託業務の整理
- ・中学校教室不足対策の強化
- ・基礎学力向上事業の拡充
- ・放課後子ども教室の拡充

- ・幼稚園における公民間格差の是正
- ・シルバー人材センターの活用
- ・商工政策の効果検証と改善
- ・市民館等公共施設の中長期修繕計画 など

病院問題分科会 一決議案を提案・可決一

人件費が、移転後のシミュレーションとかけ離れている 決算状況を問題視 ～人件費の抑制は実現可能か？～

■経営健全化計画の 信頼性の欠如

決算特別委員会病院問題分科会において下表のとおり、現在の決算から給与費を大幅に抑制しなければ、移転後も黒字化は不可能であることが明らかとなりました。「移転さえすれば、良い病院に生まれ変わり経営も改善する」という主張は、もはやこれまでの経緯をかえりみると信用できません。そして現在の病院が、赤字垂れ流しのまま放置されることも許されません。まずは現在の病院でできる改革は、至急着手すべきです。

■決議によって公式に議会の 意思表示

今回は経営の決定権を持つ市長に対して、議会の意思表示をするべく右の決議案を複数会派で共同提案し、共産党を除き各会派全議員の賛同を得て可決しました。

将来にわたって税金投入を要する重大な決断となります。今後30年間で必要とされる公立病院の機能について一層の慎重かつ集中的な検討を早急に行うよう要望しています。



西宮市立中央病院の 経営健全化に関する決議

今回の決算審査によって、西宮市立中央病院における現在の給与費が、先般提出された移転整備等検討委員会の答申(※)に示された給与費(シミュレーションによる黒字経営の可能性の検討)と大きくかけ離れていることが明らかとなった。答申にも示されたとおり、西宮市立中央病院の経営健全化は移転の大前提であり、不良債務の発生抑制対策、特に、給与水準の是正及び運営体制の効率化は喫緊の課題と考える。

よって、現在の西宮市立中央病院において、地方公営企業法を全部適用し、病院経営に精通した事業管理者を採用するとともに、給与、契約などの実質的な権限を事業管理者に委譲し、年功重視の給与体系から業績スキル重視の給与体系への変更並びに医業収益に対する給与費比率の適正化に、速やかに着手することを求める。

以上、決議する。

※答申については、当市議会報告29号もご参照ください。

■中央病院の給与費と検討委員会答申のシミュレーションとのかい離

	平成22年度決算 平均給与(a)	移転後に黒字化する 平均給与(シミュレーション)	削減額(b)	削減率 (b/a×100)
事務職	717万円	665万円	52万円	7.3%
医師	1485万円	1447万円	38万円	2.6%
看護職	670万円	496万円	174万円	26.0%
医療技術職	742万円	555万円	187万円	25.2%
技能労務職	619万円	442万円	177万円	28.5%

西宮北有料道路（盤滝トンネル）の早期無料化を求める意見書を市議会で可決し、県に対して提出。

9月議会において、決算特別委員会建設分科会から下記の意見書が提案され、本会議において全会一致で可決しました。右表のとおり、供用開始以来の収支差の累計が100億円を超えており、あと4年程度で総事業費128億円を超える(もとが取れる)ペースとなっています。

西宮市議会は、できる限りの権限を駆使して意思表示をしました。今後は、決定権を持つ県の判断を待つことになります。

■西宮北有料道路の収支状況

平成22年度実績	金 額
収 入	11億3200万円
支 出	4億7800万円
単年度収支差	6億5400万円
平成22年度までの収支差累計	104億8400万円

西宮北有料道路の早期無料化を求める意見書(本文)

西宮北有料道路(盤滝トンネル)は、本市の南北を結ぶ県道大沢西宮線のうち、冬場の凍結や勾配のきつい峠部をトンネルでバイパス化し、交通の利便性や安全性の増進を目的に、兵庫県道路公社が整備し、平成3年3月に供用開始された。その後、甲寿橋交差点付近の渋滞を解消する南伸事業も行われており、総事業費は128億円となっている。

市は、当初事業の際に公社に対し12億1500万円の無利子貸し付けを行い、料金徴収期間満了時(平成33年3月)に一括返済を受け、同時に公社は西宮北有料道路を無料開放するとしている。

供用開始以来、予定を大幅に上回る通行料により、料金徴収期間を短縮できる状況にもなっている。この道路は、西宮市民にとってはなくてはならない生活道路として、1日も早い無料化が望まれている。

よって、県におかれては、西宮北有料道路(盤滝トンネル)の早期無料化を図られるよう要請するものである。

★前号(29号)で、身近な交通問題などテーマを設定し、10月末を期限として、ご意見・身近な情報を募集したところ多数のご意見を頂戴いたしました。この場を借りてお礼申し上げます。今後も、テーマを設定して募集する予定です。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

田中正剛 たなか まさたけ

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市会議員事務所にて4年間勤務/平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選 ■所属党派:にのみや未来 ■政党:保守系無所属 ■現在の担当常任委員会:市民文教常任委員会 ■市議会での主な役職:建設常任委員会副委員長(1期2年目)、厚生常任委員会委員長(1期3年目)、西宮市監査委員(2期1年目)、フレンテ問題特別委員会委員長(2期3・4年目)、病院問題特別委員会委員長(3期1年目)

ご意見・ご要望・資料のご請求は

西宮市議会議員 **田中 正剛** 事務所

〒662-0854 西宮市櫛塚町1-14 光永ビル3階
(兵庫県西宮市南南かい)

TEL: 0798-22-5172

FAX: 0798-22-6172

E-mail: nishinomiya@masatake.jp

URL: http://www.masatake.jp

